

各関係機関団体の長 }
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 2 年度病虫害発生予察技術情報第 4 号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第 4 号（水稻トビイロウンカ）を公表しましたので送付します。

本年のトビイロウンカの発生量は過去10年で最も多く、警報第 1 号（8 月 7 日付）を公表したところですが、8 月 24 日頃から坪枯れ被害が発生し始め、以降も拡大しています。

今後もトビイロウンカの増殖に好適な気象条件が続くと予想されており、発生量が急激に増加し、坪枯れが多発することも懸念されます。したがって、基幹防除実施後もほ場での発生状況を確認し、多発が認められた場合は補正防除を行うよう指導の徹底をお願いします。

また、農薬を選定する際には使用基準（使用時期や使用回数）にご注意ください。

技術情報第 4 号

1 作物名 普通期水稻

2 病虫害名 トビイロウンカ

3 発生状況

8 月 5 半月の巡回調査の結果、県内 46 の定点ほ場における 10 株当たりの払い落とし成幼虫数は、平均 194.8 頭で、過去 10 年間のうち多発した 2013 年（45.1 頭）、2017 年（10.8 頭）、2019 年（59.5 頭）と比べて多く、地域・ほ場間でのバラつきが大きかった。発生ほ場率は 89.1% で、2013 年（71.7%）及び 2017 年（77.3%）よりも高く、2019 年（87.0%）並であった（図 1、表 1）。

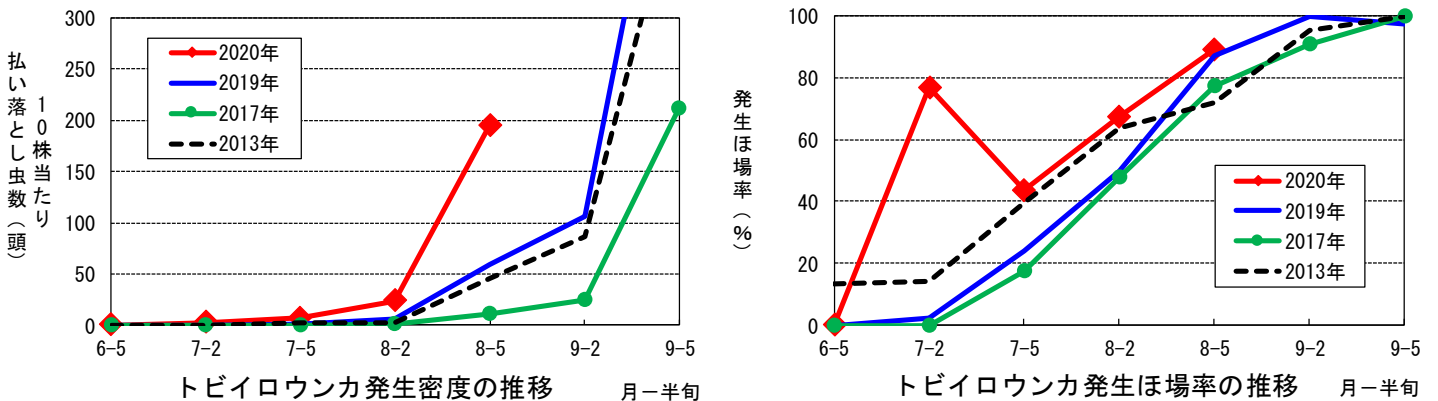


図 1 トビイロウンカの発生密度と発生ほ場率の推移

表1 定点ほ場におけるトビイロウンカの発生状況（8月5半旬調査）

（頭/10株）

調査地点	移植日 または 播種日	品種	成虫	令			合計
				老令	中令	若令	
福岡市早良区脇山1	6月7日	ヒノヒカリ	0.8	0.4	4.4	28.4	34.0
福岡市早良区脇山2	6月7日	ヒノヒカリ	0.8	4.8	98.0	226.0	329.6
筑紫野市山家1	6月13日	元気つくし	6.8	28.8	139.2	324.4	499.2
筑紫野市山家2	6月13日	元気つくし	12.8	24.8	138.8	462.4	638.8
糸島市二丈松末1	6月24日	ヒノヒカリ	0.4	0.4	11.2	50.4	62.4
糸島市二丈松末2	6月23日	ヒノヒカリ	0.8	0	2.4	50.8	54.0
宗像市朝町1	6月17日	元気つくし	0	0	0	1.2	1.2
宗像市朝町2	6月20日	元気つくし	0.4	0.4	0	1.6	2.4
久留米市宮ノ陣町1	6月14日	元気つくし	0	0	0	0	0
久留米市宮ノ陣町2	6月20日	実りつくし	0	0	0	0	0
小郡市力武	6月21日	元気つくし	0.4	0	7.2	67.6	75.2
うきは市浮羽町山北1	6月22日	ヒノヒカリ	0	0	0.4	2.0	2.4
うきは市浮羽町山北2	6月22日	ヒノヒカリ	0	0	0.4	8.0	8.4
朝倉市馬田1	6月20日	ヒノヒカリ	0.4	1.6	32.8	66.4	101.2
朝倉市馬田2	6月20日	ヒノヒカリ	1.6	2.0	33.6	79.6	116.8
東峰村小石原1	6月2日	夢つくし	0	0	0	0.8	0.8
東峰村小石原2	6月2日	夢つくし	0	0	0	2.4	2.4
東峰村福井1	6月2日	つくしろまん	38.0	40.0	806.0	1596.0	2480.0
東峰村福井2	6月6日	つくしろまん	0	0	5.6	45.6	51.2
嘉麻市中益1	6月8日	元気つくし	0	0	0	0	0
嘉麻市中益2	6月8日	元気つくし	0	0	0	1.6	1.6
直方市下新入1	6月20日	元気つくし	0	0.4	4.8	6.0	11.2
直方市下新入2	6月20日	元気つくし	0.4	0.8	0	6.0	7.2
大任町柿原1	6月7日	夢つくし	26.8	89.2	566.0	858.0	1540.0
大任町柿原2	6月7日	夢つくし	13.6	38.4	268.8	535.2	856.0
飯塚市秋松1	6月13日	元気つくし	7.6	9.6	36.8	31.2	85.2
飯塚市秋松2	6月13日	元気つくし	3.6	6.4	12.8	31.6	54.4
八女市黒木町木屋1	6月8日	つくしろまん	0	0	4.0	4.4	8.4
八女市黒木町木屋2	6月8日	つくしろまん	0	0	0	0.4	0.4
筑後市古島1	6月20日	実りつくし	2.4	2.0	5.6	9.2	19.2
筑後市古島2	6月20日	実りつくし	5.2	6.8	20.8	41.6	74.4
大川市諸富1（乾田直播）	6月2日	元気つくし	4.8	2.0	3.6	153.2	163.6
大川市諸富2（乾田直播）	6月6日	ヒノヒカリ	2.4	0	4.0	187.2	193.6
柳川市大浜町1	6月20日	元気つくし	0	0	0	0	0
柳川市大浜町2	6月21日	ヒノヒカリ	0	0.4	2.0	2.8	5.2
みやま市高田町江浦	6月17日	元気つくし	0	0	0.8	3.2	4.0
みやま市高田町海津1	6月17日	元気つくし	3.2	0.8	6.8	31.2	42.0
みやま市高田町海津2	6月23日	ヒノヒカリ	0	0	2.8	1.2	4.0
遠賀町木守1	5月24日	夢つくし	0.4	0	0	18.4	18.8
遠賀町木守2	5月24日	夢つくし	0	0	0	2.8	2.8
北九州市八幡西区楠橋1	6月25日	ヒノヒカリ	0	0.4	3.2	10.8	14.4
北九州市八幡西区楠橋2	6月25日	ヒノヒカリ	3.2	1.2	2.4	11.2	18.0
みやこ町勝山上田1	6月15日	夢つくし	0.4	0	0	1.6	2.0
みやこ町勝山上田2	6月15日	夢つくし	0	0	0	0	0
築上町上り松1	6月15日	夢つくし	6.8	16.0	129.6	518.0	670.4
築上町上り松2	6月15日	夢つくし	3.2	3.6	138.0	560.4	705.2
平均			3.2	6.1	54.2	131.3	194.8

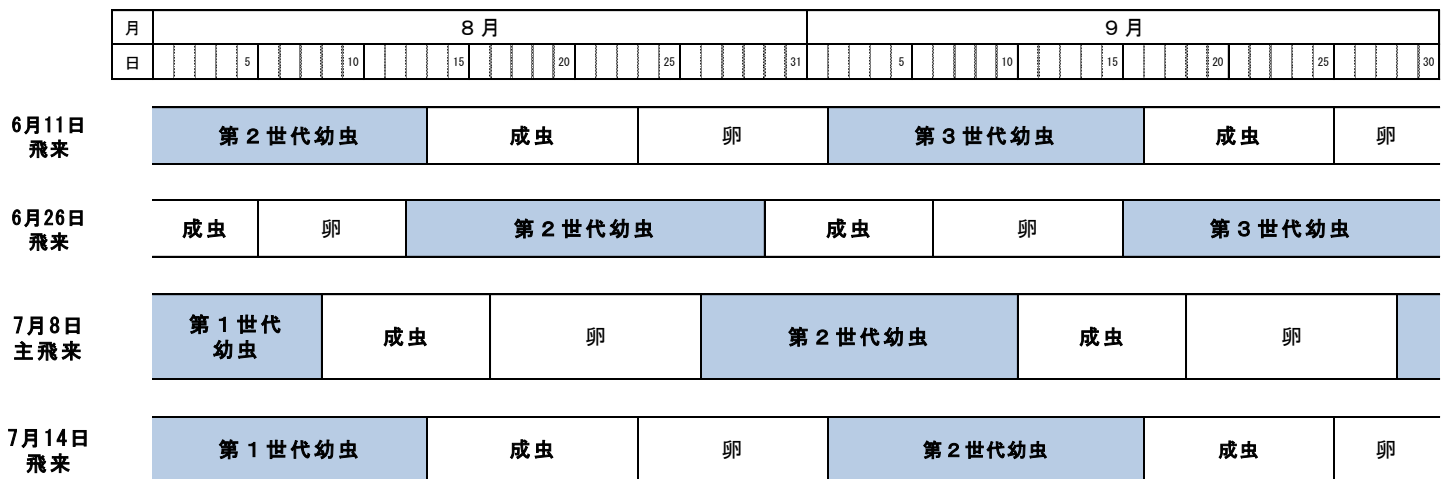
4 防除上注意すべき事項

(1) 本種の発生量は、ほ場間で大きな差があるので、ほ場の巡回を徹底して要防除水準を超えたほ場では早急に防除を行う。防除は幼虫の時期（図2：トビイロウンカの発生予想パターン図参照）を目安とする。

<要防除水準：幼虫数>

飛来後第3世代：100株当たり 1,000頭以上

- (2) 防除に当たっては薬剤が株元まで届くよう散布し、散布後に防除効果を必ず確認する。また、農薬の収穫前使用日数及び使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守し、周辺ほ場への飛散防止対策を講ずる。
- (3) 無人ヘリコプターによる防除を実施する場合は、気温が高くなる前の早朝に行う。気温が高い時間帯に実施すると、薬剤の種類によってはイネの株元に到達する前に気化し、防除効果が著しく低下する場合がある。
- (4) 使用する農薬については「令和2年度普通作物病害虫・雑草防除の手引き（<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/bojonotebiki.html>）」を参照する。
- (5) 「坪枯れ」が発生したほ場では、可能な限り収穫を早め、減収被害の拡大を防ぐ。
- (6) 今後の発生状況については、病害虫防除所ホームページ（<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>）を参照する。



(注) (1) 発育零点12.0℃、発育上限温度28.5℃、発育停止温度33.0℃、有効積算温度（成虫期間100.0℃・卵期間109.4℃・幼虫期間189.4℃）
 (2) 気温はアメダス太宰府を使用（9月2日まで実測値、以降は平年値）。

図2 飛来に基づくトビイロウンカの発生予想パターン図

（令和2年9月3日作成）